

# 失敗しない葬儀とは ～さまざまな最期のかたちと契約のポイント～

7月23日(木)、厚木商工会議所5階で、平成27年度第1回消費者問題講演会が開かれました。今回のテーマは「失敗しない葬儀とは～さまざまな最期のかたちと契約のポイント～」。講師は、一般社団法人日本エンディングサポート協会理事で、ライフエンディングコンサルタントの佐々木悦子氏。



「最後まで自分らしく」「独り暮らしなので、緊急時に備えて」「子どもに迷惑をかけたくない」などの理由で、避けられない「死」に対し、自らの意思で積極的に向き合う人が増えています。

そのために、①託す手段を考えよう(誰に、どうやって)、②情報収集して、必ず比較検討しよう、③費用は総額で必ず書面ですべておこう。

## エンディングノートに書くことは

思いを託すには、法的な遺言書の他に、エンディングノートもあります。そこには、①自分に関すること(プロフィール)、②財産・相続・遺言に関すること、③介護・医療に関すること、④葬儀・墓に関すること、⑤家族など遺される人へのメッセージを書きます。突然起きるかも知れない時のために、元気なうちに年に1回ぐらいいはエンディングノートを見直しましょう。

その前に、先ず身の回りの整理・片づけを。要らないものは処分、大事なものはわかりやすい形で保管、遺影写真やメッセージビデオを用意。後の管理をしやすくするために、預貯金は一本化しておきましょう。

## 葬式費用は3種類

お葬式の費用は大きく3つに分かれます。業者が「一式〇〇円」としているのは、祭壇・棺・ス

## 今週の活動から



第57回自治体学校 in 金沢が、7月25日から27日まで金沢市内の本多の森ホール、金沢大学、石川県文教会館を会場に開催されました。今年のテーマは「戦後70年 憲法が輝くホンモノの地方自治を学ぶ」です。市議選後の申し

込みのうえ、開通間もない北陸新幹線の影響で観光客が多く、宿泊先確保に苦勞しました。猛暑の3日間ではありましたが、ひたすら学習に励みました。

(左:釘丸久子議員、右:栗山香代子議員)

## 第57回自治体学校 in 金沢

【7月25日(土)】本多の森ホール

全体会 12:30~16:50

歓迎行事 浅野獅子舞

記念講演 地方自治の危機と再生への道  
—憲法と沖縄から考える

宮本憲一(大阪市立大学名誉教授、滋賀大学名誉教授)

パネルディスカッション

コーディネーター 岡田和弘(京都大学)

パネラー 武田公子(金沢大学)

岡庭一雄(長野県阿智村前村長)

リレートーク 古堅茂治(沖縄) / 田所賢治(大阪)

丸山史架(石川)

【7月26日(日)】金沢大学角間キャンパス

分科会 9:30~16:00

※ 分科会10 基礎講座2 現地分科会3の中から

地域循環型経済と地域づくり

国土政策と公共施設再編の中の自治体政策のあり方

ナイター企画 16:30~18:00 6つの中から

「まち研」交流会で地域の今と将来を語り合いませんか

平岡和久(立命館大学)

【7月27日(月)】石川県文教会館ホール

全体会 9:30~11:45

特別講演 世界農業遺産「能登の里山里海」と地域再生

～自治体と大学の連携による人材育成をとおして

中村浩二(金沢大学特任教授、

里山里海プロジェクト代表)

タツフなどです。実費用(料理、返礼品、火葬場への送迎バス等)、および宗教者へのお礼は入っていません。事前に複数の葬儀社から見積もりを取り、中身を確認しましょう。  
インターネットで安いからと頼んだら、棺を自分で持てと言われたとの実例も紹介されました。また、3人の子どもがそれぞれ違う葬儀社に頼んだので、式場にお坊さんが3人来たとの例も。  
あせらず、あわてず、あきらめず、できることから、ひとつひとつ。  
講演の最後、講師の「手始めに、おうちのお片づけから始めてみてください」との言葉で、「ドキッとしたのは、私だけでは無かったはず！」